

長町商店街エリア
(JR長町駅周辺・旧国道4号沿線)における

「歩いて楽しい街並みづくり」に向けて

令和5年3月18日



■長町地区の位置づけ

長町地区＝南部の「広域拠点」

- ・都市圏の活動を支え、生活拠点にふさわしい魅力的で個性ある都市機能の集積を図ります。

- ・地域や商店街等と連携しながら、地区全体での賑わい向上に取り組みます。

(仙台市基本計画2021－2030)

- ・**あすと長町地区、JR・地下鉄長町駅周辺の商店街、太白区役所周辺地区**それぞれの地域特性を生かし、**各地区の都市機能の連携**による高次な都市機能が集積する複合型の広域拠点の形成を推進することとしています。

- ・歴史ある長町の商店街は、商業機能と文化機能が連携した賑わいのある、

歩いて楽しい歩行者空間や街並みの形成を図ります。

(仙台市都市計画マスタープラン地域別構想 長町地区)



■長町商店街エリア（JR長町駅周辺・旧国道4号沿線）の現状と課題

<現状>

- 商店街や「ながまちマチキチ」等によるワークショップ、イベント等、盛んなまちづくり活動
- 東北工大と連携した学生のまちづくり参画
- 地域団体による長町駅前プラザの運営
- あすと長町や長町南の大型商業施設等との連絡会を通じた連携

<課題>

- あすと長町や長町南の賑わいの日常的な取り込み
- まちづくりの中長期的なビジョンづくり
- まちづくりの目標の設定と、その達成に向けた継続的な取組み
- シャッター店・駐車場・マンションの増加⇒来訪・滞在・回遊したい街並みづくり
- 歩行者、自転車が安全に通行できる環境づくり、広場・歩道・道路空間の利活用



■ヒト中心の空間形成

街路空間再構築・利活用の取組 ～居心地が良く歩きたくなる街路づくり～

クルマ中心からヒト中心の空間形成
沿道と路上を一体的に活用
地域の多様な主体の活躍

人々が集い・憩い・多様な活動を繰り広げられる場へ





歩いて楽しい街並みの形成(他都市の事例)

京都市 四条通 整備により、歩道を2倍に拡幅



出典:「官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集」(国土交通省)
https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_gairo_fr_000058.html

東京都港区 新虎通り 歩道上の仮設店舗



東京都千代田区 丸の内仲通り キッチンカー・可動イスによるオープンカフェ



出典:「居心地が良く歩きたくなるグランドレベルデザイン」(国土交通省)
<https://www.mlit.go.jp/toshi/file/useful/g-level2.pdf>

神戸市 三宮中央通り パークレットによりベンチや芝生広場を整備



出典:「官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集」(国土交通省)
https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_gairo_fr_000058.html



■歩いて楽しい街並みの形成(定禅寺通りの事例)

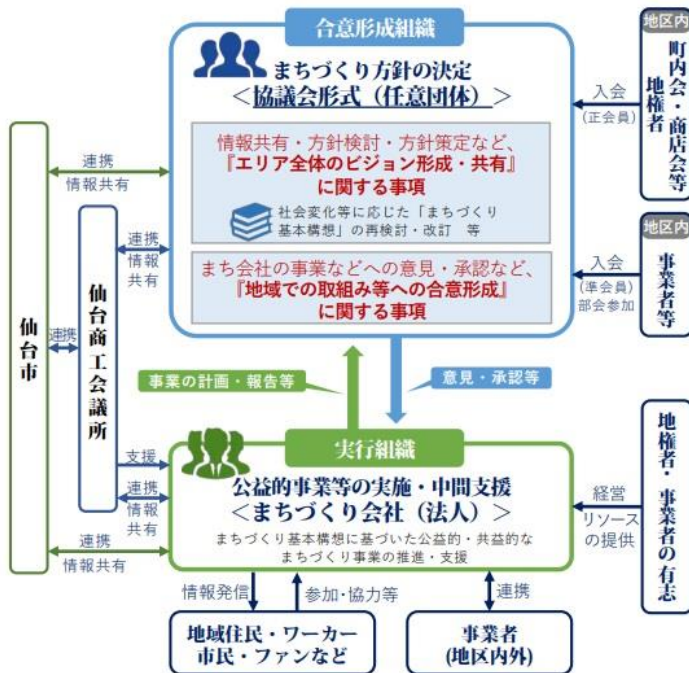
定禅寺通り(仙台市)

2027年までに再整備
官民連携で活性化推進



出典:「定禅寺通エリアまちづくり基本構想」(令和4年3月策定)

エリアマネジメント推進体制(イメージ)



出典:「定禅寺通エリアまちづくり基本構想」(令和4年3月策定)

【再整備の主な内容】

- ケヤキは現位置で保存、ケヤキの生育環境に配慮
- 車線削減を行い片側2車線化(一部片側1車線化)
- 交差点形状の変更(スクランブル化等)
- バスベイ、タクシー乗場、停車・荷捌きスペースの設置
- 車道上に自転車専用通行帯を整備
- 歩道及び中央緑道における滞在・利活用空間の拡大・整備
- 照明、イベント用電源・給排水設備等の整備 など



図: 定禅寺通再整備における車線構成

【定禅寺通再整備のスケジュール(予定)】※

- 令和5年度: 測量・調査・設計
 - 令和6~9年度: 工事
- ※今後の調査結果や関連事業との調整等により、変更となる場合がある

出典:「定禅寺通再整備方針」(令和5年3月策定)



■歩いて楽しい街並みの形成

歩いて楽しい街並みー安全、快適、楽しい
歩きたくなる、滞在したくなる、目的地となる



「歩道・道路空間」と「沿道空間」の両面から取り組む必要あり

- (歩道・道路) 歩いて安全で楽しく、滞在して快適な空間
⇒空間の活用・整備
- (沿道) まち歩きしたくなる沿道の楽しい環境(1階部分)
⇒(ターゲットを定めた)空き店舗活用、仮設店舗設置
(テナント誘致につなげる)



■歩いて楽しい街並みの形成

歩いて楽しい街並みの形成により期待される効果(例)



- ・CO2削減→地球温暖化防止
- ・賑わいが生まれる→地域経済活性化
- ・安全性やまちの景観の向上→まちのイメージの向上
→まち全体の評価・価値の向上
- ・まちに対する愛着が生まれる→まちのブランド化



■歩いて楽しい街並み形成(イベントによる非日常空間の創出の例)



オーストラリアのモーニントンのクリスマスは、封鎖した道路に巨大滑り台、ミニSL、回転木馬、動物ふれあい広場、ラクダ等が登場し、まち中に路上遊園地が出現する。





■歩いて楽しい街並み形成(イベントによる非日常空間の創出の例)



ワインで有名な**山形県南陽市**では、まちのメインストリートを封鎖し、テーブルとイスが多数並べられ、**ワインフェスティバル**が開催される。

写真提供: 南陽市





歩いて楽しい街並み形成(仮設店舗の例)

キッチンカー活用社会実験の例
(仙台市 宮城野通り)



歩道上におけるワゴンの出店
(奈良市 市道三条線)



「ほこみちのとりくみ」(国土交通省)
https://www.mlit.go.jp/road/hokomichi/pdf/jirei_220906.pdf

駐車場を屋台村に活用
(北海道帯広市「北の屋台」)



「空き地等の新たな活用」(国土交通省)
<https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/content/001484581.pdf>



南部拠点(長町)地域のまちづくり推進イメージ

【全体】仙台駅周辺、一番町に次ぐ「賑わいの交流拠点」へ

●エリア間の情報共有 ●3地区連携による取組み (例)連携会議、共同広報、回遊促進の仕掛け等

【長町商店街(JR長町駅周辺・旧国道4号沿線)】 まち歩き・イベントを楽しめる「歩いて楽しい街並み」へ

●魅力的な歩行空間形成に向けた検討・実証実験

- ・地域による目指すべき街並み像(ビジョン)検討と官民連携組織による基本計画の策定
- ・回遊・滞在環境を高めるための実証実験、魅力的な歩行空間形成促進
- ・イベントの定期化による賑わいの創出

●まち歩きしたくなる沿道空間の演出

- ・空き店舗活用、仮設店舗の設置、キッチンカー活用等、実験的な取組みの促進
- ・街歩き向きの店舗の誘致促進検討(イベント出店⇒仮設店舗出店⇒新規開業)



キッチンカー活用社会実験の例(宮城野通り)

出典:仙台駅東口エリアの情報発信サイト[ワン]
<https://sendai-ekihigashi.net/>



憩いや遊びの空間の社会実験の例(青葉通り)

【あすと長町(杜の広場周辺)】 人々が集い魅力を発信する

「仙台のシンボル広場」へ

- 積極的なイベント誘致・活用促進
- 協議会による賑わいづくり活動の検討
- 将来的な維持管理・活用手法の検討



杜の広場のイベントによる賑わい

回遊

【長町南(区役所周辺)】

買い物しながら区民サービスを楽しめる 「パブリックモール空間」へ

- 周辺大規模商業施設との連携事業の拡充
- イベントを通じた区内各地域の魅力を発信



商業施設内での健康増進普及の取り組み



■ 検討の進め方(例)

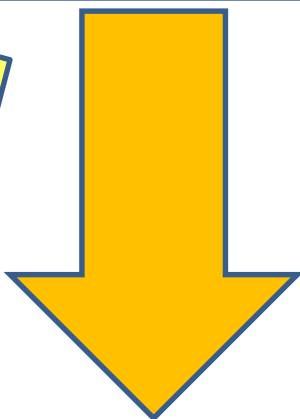
進め方(例)

【令和5年度】 将来ビジョンの策定に着手

勉強会の立ち上げ(地域の方々、有志、行政、等)

- ・長町地区のデータ分析
- ・他都市の事例研究
- ・イベント等実証実験
- ・上記を踏まえた“望想”のビジョン化
- ・検討経過の共有(情報紙発行、フォーラム開催等)

専門家による
支援



【令和6年度以降】

- ・将来ビジョン策定
- ・官民連携組織での検討や実証実験
- ・基本計画策定
- ・必要に応じた制度導入や空間整備、等

官民連携による街並みづくり